

保護観察及び生活環境調整において 使用する報告書の作成等について

<研修のねらい>

保護観察や生活環境の調整を行う上で、担当保護司により作成される報告書は非常に重要な役割を果たします。報告書は、保護司と保護観察官とをつなぐ架け橋であるとともに、対象者に対して、適切な処遇や措置、調整を検討するための資料となります。

本研修では、数ある関係書類の中でも、最も作成する機会が多い、保護観察経過報告書(甲)及び生活環境調整報告書(甲)について、その書き方や意義を改めて確認するとともに、留意事項などについて理解を深めることを目的とします。

<研修の流れ>

1. 主任官講義

1. 保護観察経過報告書(甲)について
2. 生活環境調整報告書(甲)について
3. 個人情報管理について

11. 質疑応答

<参考>

保護司のための 保護観察・生活環境の調整の進めかた

I 講義

1. 保護観察経過報告書(甲)について

(ア) 保護観察経過報告書(甲)とは

毎月、担当保護司が、保護観察対象者に対して行った指導監督及び補導援護の内容等を保護観察所の長に報告する文書

(イ) 作成及び提出の際のポイント(研修資料)P6~9)

2. 生活環境調整報告書(甲)について

(7) 生活環境調整報告書(甲)とは

担当保護司が、矯正施設に収容されている者に対する生活環境の調整の状況を保護観察所の長に対して報告する文書

(1) 生活環境調整追報告書とは

初回調整で、十分に調査・調整したと思っても引受人の引受意思や帰住予定地の生活環境は常に変動する可能性がある。定期的な生活環境の調整を行い、調整の必要が生じたときは、速やかに必要な調整を行う必要がある。

【生活環境調整追報告書提出時期】

対象者の種類	少年院在院者	有期刑 (刑期が3年未満)	概ね3か月ごと	法定期間の末日
	無期刑 (刑期が3年以上)	有期刑 (刑期が3年未満)	概ね6か月ごと	経過前
受刑者	無期刑	有期刑 (刑期が3年以上)	概ね1年ごと	経過後
			概ね6か月ごと	

(ウ) 作成及び提出の際のポイント(「研修資料」P10～14)

3. 個人情報管理について

- (ア) 事件関係書類は、保護司本人以外の目に触れないように保管する。
- (イ) 事件関係書類は、保護観察及び生活環境調整の実施上やむを得ない場合を除き、自宅から持ち出さない。
- (ウ) 担当終了時には、関係書類を速やかかつ確実に保護観察所に返還する。
- (エ) パソコンで報告書を作成する場合には、情報流出等の事故のないよう、以下の点に留意して、電子データ管理を特に慎重に行う。

インターネットに接続していないパソコンを使用すること。やむを得ず、インターネットに接続されているパソコンを使用する場合は、必ずLANケーブル等をパソコンから外してから（無線LAN、Wi-Fi）を利用している場合は、接続を切断してから行うこと。

OS（オペレーティングシステム）、ソフトウェア等はサポート期限内かつ最新のアップデートが完了済みのものを使用すること。また、ウイルス対策ソフトを導入し、定期的に更新して常に最新のバージョンにしておくこと。

パソコンにパスワードを設定する等して、作成中の報告書等の内容を他者（家族を含む）に閲覧されることのないようにすること。

作成したファイルには暗号化又はパスワードを設定して適切に管理し、外には持ち出さないこと。

作業終了後は、報告書作成に使用したアプリケーションを終了させてから、LANケーブル、無線LAN、Wi-Fi等を接続すること。

報告書等各種情報ファイルについては、担当終了後又は保存の必要がなくなった時点で必ず削除すること。

過去に対象者等の個人情報情報を保存したことがあるパソコン及び外部記録媒体を処分する場合には、データ消去ソフトの仕様、物理的な破砕等の方法により、データが復元できないような状態にした上で処分すること。

コンピュータウイルスが世界的に流行しており、なりすましメールを用いた攻撃によるウイルスへの感染や、感染に伴うパソコンからの情報流出の被害が拡大しています。そのため、なりすましメールの疑いのある不審なメールに記載された不審なURLや不審な電子ファイルを開封しないこと。

II 質疑応答

(2) (氏名)

遵守事項を	<input type="checkbox"/> 守っている	<input type="checkbox"/> 守っていない
(守っていない場合の具体的な状況)		
保護観察対象者の生活及び行動の状況		
状況		

家族関係	(居住) <input type="checkbox"/> 単身 <input type="checkbox"/> () と同居
	(家族間の折り合い) (不和の状況)
交友関係	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良交友あり <input type="checkbox"/> 孤立
	(友人の氏名, 交友状況等)

就労・就学	(学校名, 学年) <input type="checkbox"/> 欠席なし <input type="checkbox"/> 時々欠席 <input type="checkbox"/> 長期欠席
	(勤務先名) (職種) <input type="checkbox"/> 不就業
	(所在地) (電話)
	(稼働日数) 日/月 (収入) 円/日・月
経済状態, 余暇	<input type="checkbox"/> 通勤 <input type="checkbox"/> 住込 <input type="checkbox"/> 家業 (保護観察秘匿の要否) <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否
	(具体的状況)
薬物乱用・問題飲酒	<input type="checkbox"/> 健全な余暇活動あり
	<input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり
疾患	<input type="checkbox"/> 疾患なし <input type="checkbox"/> 疾患あり
	(通院, 入院, 服薬等の状況)
態度, 考え, 方	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良
	(具体的状況)
被害者等への謝罪や弁償	<input type="checkbox"/> 被害者なし
	<input type="checkbox"/> 被害者あり () 実施済み <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未実施

担当 保 護 司 の 意 見	
主任官に求める措置 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
(具体的内容)	
担当保護司としての今後の方針など	

(3)

主任官所見	今後の措置 () 方針など	保護観察の 遵守事項違反又は生活行動指針からの逸脱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	状況 今月で () 区分 () 月経過	保護観察所 特別遵守事項, 生活行動指針 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 取消し	長の判断及 如遇区分 () から () へ変更	措置 びとるべき 指導監督, 補導援護その他の措置 ()	(上記判断及び措置の理由等)
				特別	一般		

(注意) 1 この報告書は, 翌月5日までに必ず提出してください。

2 (3) 欄は, 保護観察所が記載する欄です。 5

提出年月日	保護区	担当保護司
令和3年1月5日	△△	更生花子 印

「保護観察経過報告書(甲)」
(令和3年1月1日～)

一書き方一

保護観察経過報告書(甲)

(令和2年12月分)

事件番号	5□□(1)1-0000
氏名	○△○△
保護観察期間	令和□□年 3月20日から 令和■年 5月12日まで

保護観察の経過

日(時)	接触の状況及び面接の内容等	呼出し等の概要
10	来訪予定の時間になっても来訪しないため、本人の携帯に電話。本人が出て、だいぶ慌てている様子。忘	
	れていたこと。これからでも来訪したいとのこと。来たので、待っているからと話す。	
(14:00)	息とハーハーとせながら来訪。久しぶりの休みだっ	次回に来訪は、25
～	たので、朝からのんびりしていたとのこと。会社から、日とする。仕事帰りに	
14:50)	今月から健康保険・年金に加入させると言われたと喜	ぶるようになる。
	んでいた。給料の手取額は少なくなるが正社員扱いに	
	なったことは勤務状態が認められたことだと褒める。	
20	母親に電話して、本人の状況を聞いてみる。仕事は	
	真面目に行っているの不安心はしているが、ただ、最	
	近、本件共犯者から本人に電話があったとのこと。	
25	本人来訪。残業で少し遅くなったとのこと。仕事で	次回に来訪は、来月
(20:00)	生活状況に変化なし。給料から家に生活費として5万	9日午前11時とす
～	用、その他は運転免許とるための貯金で携帯電話代	
20:30)	にしているとのこと。母親から聞いたことについて本	
	人に尋ねたところ、○者から避けないかとの電話が	
	あったが、断ったとのこと。本人の特別遵守事項と確	
	認しながら、誘いや断ったことと褒める。	

今月の面接及び連絡回数

面接	2回
往信	2回
来信	2回

往訪	2回
来訪	2回

遵守事項を <input type="checkbox"/> 守っている <input checked="" type="checkbox"/> 守っていない	遵守事項に ついて
本人から望んだものではないが、共犯者(□○△-)と電話で接触した。 (守っていない場合の具体的な状況) <input checked="" type="checkbox"/> 守っていない	
保護観察対象者の生活及び行動の状況	

家族関係	(居住) <input type="checkbox"/> 単身 <input checked="" type="checkbox"/> 父母 () と同居 (家族間の折り合い) (不和の状況) 父親と少しすつ下はあらかん話と <input type="checkbox"/> 和 <input checked="" type="checkbox"/> やや不和 <input type="checkbox"/> 不和 (保護観察に対する家族の理解、態度) <input checked="" type="checkbox"/> 協力的 <input type="checkbox"/> 普通的 <input type="checkbox"/> 無関心 <input type="checkbox"/> 拒否的 母親は本人の生活状況と関心してかたがた協力的である。
交友関係	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良交友あり <input type="checkbox"/> 孤立 (友人の氏名、交友状況等) 現在は、職場の同僚との付き合いのみ。共犯者 から電話連絡があったものの、誘いと断っている。
就労・就学	(学校名、学年) <input type="checkbox"/> 欠席なし <input type="checkbox"/> 時々欠席 <input type="checkbox"/> 長期欠席 (勤務先名) ××建材(有) (職種) 解体工 <input type="checkbox"/> 不就業 (所在地) △□市×○ (電話) 03-123-456 (稼働日数) 25日/月 (収入) 20万円/日・月 <input checked="" type="checkbox"/> 通勤 <input type="checkbox"/> 住込 <input type="checkbox"/> 家業 (保護観察区域の要否) <input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 否
経済状態、余暇	<input checked="" type="checkbox"/> 生計が安定 <input type="checkbox"/> 借金・ローンあり <input type="checkbox"/> ギャンブルあり <input type="checkbox"/> 貧困 <input type="checkbox"/> 健全な余暇活動あり (具体的な状況) 余暇については、次回更に確認したい。
薬物乱用・問題飲酒	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり (具体的な状況)
疾患	<input checked="" type="checkbox"/> 疾患なし <input type="checkbox"/> 疾患あり (通院、入院、服薬等の状況)
態度、考え方	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不良 (具体的な状況) 面接への遅刻はあつたものの、素直な態度で面接を受けている。
被害者への謝罪や弁償	<input checked="" type="checkbox"/> 被害者あり (<input type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未実施) <input type="checkbox"/> 被害者なし

主任官に求める措置 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/>	(具体的内容) 共犯者(□○△-)の最近の様子と教えてください。 担当保護司としての今後の方針など 努力している点とさらりと褒めつつ、余暇の過ごし方や交友関係について引き続き確認したい。
担当保護司の意見	

主任官所見	[今後の措置] [や方針など]
保護観察の状況	遵守事項又は生活行動指針からの逸脱 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 今月で【 】区分()月経過 特別遵守事項、生活行動指針 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 取消し 長の判断及処遇区分 <input type="checkbox"/> 指導監督、補導援護その他の措置 () 措置 <input type="checkbox"/> とるべき
(注意) 1 この報告書は、翌月5日までに必ず提出してください。 2 (3)欄は、保護観察所が記載する欄です。	

保護観察経過報告書(甲)の変更点

「保護観察対象者の生活及び行動の状況」欄(H欄)

- ・留意すべき指導領域」の欄を廃止し、記載項目の新規追加(「態度、考え方」、「被害者等への謝罪や弁償」)及び内容の見直し(「家族関係」「交友関係」「経済状態、余暇」「薬物乱用・問題飲酒」「疾患」)を行い、全ての対象者について「問題」と「強み」を網羅的に記載しやすくしました。
- ・各項目については、チェック項目を増やし、簡略にかつ記入漏れな報告書を作成できるようになりました。
- ・「不詳」欄を設けることで、分からない事項について明らかにできるようにしました。

「担当保護司の意見」欄(I欄)

- ・主任官に求める措置の有無を、チェック項目で記入できるようになりました。
- ・主任官に求める措置」と「担当保護司としての今後の方針など」を分けて記載いただけるようになりました。

A 「事件番号」欄
保護観察事件調査票に記載されているものを記載してください。

B 「保護観察期間」欄
保護観察事件調査票に記載されているものを記載してください。

C 「日(時)」欄
対象者や引受人等と面接をした場合は、日付、開始時刻及び終了時刻を記載してください。電話等により対象者や引受人等と接触した場合も日付を記載してください。

D 「接触の状況及び面接の内容等」欄
面接の際の状況、対象者や引受人等の主な発言、保護司が指導・助言したこと、実際に援助したことなどを、時系列で、具体的に記載してください。

E 「呼出し等の概要」欄
対象者に対して行った次回以降の面接の呼出しや往訪の予定の連絡について、その手段の別(口頭、書面、電話その他)、面接の予定日時及び場所等を記載してください。

F 「今月の面接及び連絡回数」欄
「往訪」「往信」は、保護司が、対象者又は引受人等のもとへ、「来訪」「来信」は、対象者又は引受人等が、担当保護司のもとへ、訪問又は電話、文書等による連絡を行うことを意味していますので、その回数を記載してください。

9 「遵守事項について」欄
 「守っていない」に☑を付した場合は、遵守しなかった遵守事項の内容及び遵守事項を守っていないと認められる対象者の具体的な行動等について記載してください。

H 「保護観察対象者の生活及び行動の状況」欄

①「状況」欄には、項目ごとに、生活及び行動の状況をできる限り具体的に記載してください。具体的な状況が不詳の場合は、不詳欄に☑を付してください。

②「薬物乱用・問題飲酒」欄には、以下の事項を始めとした、対象者の言動のうち、薬物又は飲酒に関する事項を記載してください。

薬物関係：密売人や薬物常使用者との接触、特異な言動などの薬物使用が疑

われる行動、薬物を止める意思や薬物に対する考え方、医療機関

や自助グループ等への通所状況 など

飲酒関係：飲酒による粗暴な言動、略酔し警察に保護されたこと、アルコール

により健康を害していること、飲酒を止める意思や飲酒に対する考

え方、医療機関や自助グループ等への通所状況 など

※ 特別遵守事項により飲酒が禁止されている場合には、これらの問

題の有無によらず飲酒の有無等を記載してください。

③「態度、考え方」欄には、犯罪や非行に対する本人の考え方や本件犯罪(非行)

に対する反省、保護観察に対する姿勢などについて記載してください。

I 「担当保護司の意見」欄

対象者の改善更生が進んでおり、保護観察を早期に終結させることが適当と考え

るときはその旨を記載してください。問題が生じている場合などにおいて、保護観察官

による指導等が必要と考えられるときもその旨を記載してください。

なお、緊急性を要するときは、電話等により相談してください。

また、担当保護司としての今後の方針についても記載してください。

J 「主任官所見」欄 等

提出を受けた後で保護観察所が記入する欄ですので記載しないでください。

4部複写中, 当庁への提出枚数は3枚です。

生活環境調整報告書 (甲)

氏名		法務 二郎 (昭和〇〇年〇月〇日生)		収容施設		〇〇刑務所	
A 帰住予定地		高知県〇〇市〇〇町1-2 〇〇ハイッ103号		B 住所		■帰住予定地と同じ □下記のとおり () 電話 〇〇(〇〇)〇〇〇〇	
C 氏名等		法務 花子		年齢 (〇歳) 続柄 (実母) 職業等 (パート)		電話 ()	
D 住受		1 引き受ける <input checked="" type="checkbox"/> 7 進んで引き受ける 1 仕方なく引き受ける 2 引き受けない 7 協力の意思はある 1 協力の意思はない 3 未定		(左記の理由) 我が子だから。 (1又は2アの場合の具体的な協力内容) <input checked="" type="checkbox"/> 同居 □ 住居の確保 □ 福祉的支援 <input type="checkbox"/> 経済的支援 □ 就業先又は通学先の確保 <input type="checkbox"/> その他		調整時の引受人等の態度等 丁寧に対応してくれたが、顔色が悪く、体調が優れない様子だった。	
E 居住地		1 行く (出迎人の氏名・続柄) 2 行かない (理由) 体調が良ければ行きたいが、今のところ未定。 3 未定		住居の状況 1 一戸建 (□借家) 2 一戸建 (□賃貸) 3 その他 () 広さ(室数) 2DK 地域 環境 () 住宅地・商店街・工場地帯・農漁山村・歓楽街 その他 ()		生計の状況 F 富裕・普通・貧困 (生活に余裕はないが、本人と養うだけのことはできる)	
F 帰住予定地等に居住する家族等の状況		続柄 氏名 実母 法務 花子 実兄 法務 太郎 年齢 職業等 パート 無職 日曜が休み 3ヶ月前に失業し、現在就職活動中		状況 (引受人が帰住予定地に居住していない場合は、居住予定地に居住している家族等と区分し記載すること。) 大等と同居している家族等と区分し記載すること。		定住 調整時の引受人等の態度等 丁寧に対応してくれたが、顔色が悪く、体調が優れない様子だった。	
G 対象者に対する上記家族等の感情		実兄の本人に対する感情がやや厳しいが、引受けには同意している。		近隣 近隣の風評等 本件が実名で報道されたため、近隣住民の中には知っている者もいると思われるが、特に悪い噂等は聞かない。		等 近隣の風評等 本件が実名で報道されたため、近隣住民の中には知っている者もいると思われるが、特に悪い噂等は聞かない。	

関係人(引受人等及びその家族を除く。) 引受人によると、本人が以前働いていた会社(株)〇〇興業)の社長(〇〇〇夫氏)が、解雇後の雇用を検討してくれているとのこと。 対象者の施設収容前の生活状況及び交友関係 本件当時は単身生活をしていて、下詳細は不明だが、仕事を辞めてから、昔の遊び仲間とつきあいが復活している様子。		対象者の状況 特に関係者に問題なしとのこと。
対象者の施設収容前の生活状況及び交友関係 本件当時は単身生活をしていて、下詳細は不明だが、仕事を辞めてから、昔の遊び仲間とつきあいが復活している様子。		対象者の状況 特に関係者に問題なしとのこと。
引受人(引受人等及びその家族を除く。) 引受人によると、本人が以前働いていた会社(株)〇〇興業)の社長(〇〇〇夫氏)が、解雇後の雇用を検討してくれているとのこと。		見込み 状況、生計の又は通学先の職業安定所で就職活動を行う予定とのこと。
帰住に当たった問題点、調整した事項及び今後の調整の方針		F 引受人の体調に不安があり、今後の引受人の体調次第では、引受人と同居の実兄に変更することも検討する必要があるため、次回の調整で、実母及び実兄の考えを確認したい。
他に適当な所 住 帰住予定地に同じ。 氏名 法務 太郎 年齢 () 性別 () 職業等 (意職(就職中)) 住所 住居 〇〇市 〇〇区 〇〇番地 〇〇号 引受人等及び理由 上記のとおり、引受人(実母)の体調に不安があるため、今後の調整で引受人変更の必要性について見極めたい。		G 調整の方針
引受人等その他の関係人から聴取した被害弁償・謝罪の状況、被害者等の心身状況、生活状況及び被害者に関する心身		H 被害弁償について、被害者から50万円を請求されており、本人が出所後、毎月2万円ずつ返済することになっているとのこと。
参考事項 I 引受人に住所を確認したところ、帰住予定地の部屋番号は、103号下ではなく、104号が正しいとのこと。		参考事項
調整のために帰住予定地へ出向いた回数1回 帰住予定地と生活環境調整担当保護司宅との距離 3km		
※生活環境調整主任官の所見等		
令和3年〇月〇日 生活環境調整(担当保護司) 氏名 更生 保		
年 月 日 生活環境調整主任官		

(氏名)

1 該当する番号等に○印を付すなどすること。

2 「帰住予定地」欄 (A)

(1) 身上調査書等に記載されている帰住予定地を記載すること。

(2) 調査の結果、身上調査書等に記載されている帰住予定地と実際の帰住予定地が異なる場合には、「参考事項」欄にその旨を記載すること。

3 「引受人等」欄

(1) 「住所」欄 (B)

ア 引受人等の住所と帰住予定地が同じ場合には、「□帰住予定地に同じ」の□にレ印を付すこと。

イ 引受人等の住所と帰住予定地が異なる場合には、「□下記のとおり」の□にレ印を付し、身上調査書等に記載されている住所を記載すること。

(2) 「氏名等」欄

身上調査書等に記載されている氏名等を記載すること。

(3) 「特記事項」欄 (C)

事例に依り、以下の事項を記載すること。

ア 引受人等の性格、行状、生活上調査対象者の監護に関する責任の自覚の有無等
イ 引受人等が家族以外の者等である場合には、生活上調査対象者との具体的な関係

(4) 「引受け・協力の意思・内容」欄 (D)

引受人等の引受け・協力の意思・内容について、1から3までのうち最も近いと思われるものを選択すること。また、引受け・協力の意思を示している場合は、その具体的な協力内容について記載すること。

4 「住居の状況」欄

帰住予定地の住居が、借家又は賃貸の住居である場合には、該当する□にレ印を付すこと。

5 「生計の状況」欄 (E)

() 内には、生活保護を受けていること等特記すべき事項を記載すること。

6 「近隣の風評等」欄

報告者の知り得る範囲で、帰住予定地近辺における以下の事項に関する風評等を記載すること。

(1) 生活上調査対象者

(2) 当該生活上調査対象者が刑又は保護処分を言い渡される理由となった犯罪又は刑罰法令に触れる行為

(3) 引受人等、その家族等

7 「関係人(引受人等及びその家族を除く。)の特記事項」欄

以下の事項を記載すること。

(1) 生活上調査対象者の改善更生に資する関係人(引受人等及びその家族を除く。)

に対し、理解及び協力を促した事項

(2) 当該関係人に関する特記事項

8 「対象者の心身の状況」欄

対象者の施設収容前の心身の状況及び引受人等から聴取した対象者の現在の心身の状況について、特記すべき事項を記載すること。

9 「帰住に当たっての問題点、調整した事項及び今後の調整の方針」欄 (F)

調整に要する見込み期間が明らかでない場合には、その期間を記載すること。

10 「他に適当と思われる帰住予定地・引受人等及びその理由」欄 (G)

引受人等に引受け又は協力の意思がある場合にも、他に適当と思われる帰住予定地・引受人等があるときには記載すること。

11 「引受人等その他の関係人から聴取した被害弁償・謝罪の状況、被害者等の心身の状況、生活上調査及び被害に関する心情」欄 (H)

引受人等その他の関係人から被害弁償・謝罪の状況、被害者等の心身の状況(通院状況、精神的被害の状況(犯罪に起因する心的外傷後ストレス障害(P.T.S.D.)の発症その他の精神的影響の内容)、生活状況(就業先又は通学先(今後就業又は通学予定がある場合には、その旨及び当該就業予定先又は通学予定先)、犯罪がその後の生活に及ぼした支障の内容)及び被害に関する心情について聴取した場合には、その内容を、それぞれ記載すること。その他、犯罪の内容、生活上調査対象者と被害者等との関係、被害者等の住居及びその生活圏等に照らし、生活上調査対象者の帰住に際し、被害者

等の再被害及び二次的被害防止の観点から特に配慮すべき事項がある場合には、その内容を記載すること。
12 ※欄には、生活環境調整主任官の所見のほか、生活環境調整主任官が調整した事項等がある場合には、その内容も記載すること。

文書番号 年 号

送年月日	令和〇〇年〇月〇日		〇〇地方更生保護委員会
	あ	〇〇保護観察所	
付	行名	〇〇刑務所	
	送年月日	() 支部・駐在官	

通称・別名	ふりがな	ほうむじろふ	本籍	高知県〇〇市〇〇町〇〇番地
氏名	法務 二郎	婦住	高知県〇〇市〇〇町1-2	昭和〇〇年〇月〇日
生年月日	高知県〇〇市〇〇町1-2	〇〇ハイツ103号	子定地	〇〇ハイツ103号

住所	高知県〇〇市〇〇町1-2 〇〇ハイツ103号
電話番号	〇〇(〇〇) 〇〇〇〇

引受人の状況	氏名	法務 花子	年齢	〇歳	職業	実母	続柄	実母
--------	----	-------	----	----	----	----	----	----

区分	1 刑	刑	刑	刑	刑
----	-----	---	---	---	---

言渡しの日	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇
-------	-------	-------	-------	-------	-------

言渡し裁判所	〇〇地裁	〇〇地裁	〇〇地裁	〇〇地裁	〇〇地裁
--------	------	------	------	------	------

罪名	窃盗	窃盗	窃盗	窃盗	窃盗
----	----	----	----	----	----

刑名・刑期	懲役〇年〇月	懲役〇年〇月	懲役〇年〇月	懲役〇年〇月	懲役〇年〇月
-------	--------	--------	--------	--------	--------

通算	裁定〇〇日	裁定〇〇日	裁定〇〇日	裁定〇〇日	裁定〇〇日
----	-------	-------	-------	-------	-------

執行済	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
-----	-----	-----	-----	-----	-----

罰金	円納・未納	円納・未納	円納・未納	円納・未納	円納・未納
----	-------	-------	-------	-------	-------

刑期起算日	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇
-------	-------	-------	-------	-------	-------

刑期終了日	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇
-------	-------	-------	-------	-------	-------

法定期間の末日	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇	〇・〇・〇
---------	-------	-------	-------	-------	-------

収容した日	令和〇年〇月〇日	入所度数	初犯1人	処遇指標	(VO, RO) A
-------	----------	------	------	------	------------

執行関係の特記事項					
-----------	--	--	--	--	--

参考事項					
------	--	--	--	--	--

生活環境調整報告書(甲)の「居住予定地」欄には、ここに記載してある表記のとおりに記載します。